

講座名	大学教育研究の理論と方法 (1~2)		担当者氏名	寺崎昌男	
講座コード	1801	日時	2018年8月24日(金) 10:00~12:30	教室	同志社大学今出川キャンパス 至誠館3階会議室
<p>[講座の概要]</p> <p>講座名を見た方は、「大学教育について教育学的な考察を聴き研究方法を考えること」と思われるかも知れませんが、しかし概論風の講義ではなく、「大学教育の改革を行う際に考える理論と方法」、言い換えれば「大学教育改革のための教育研究法」をともに学ぶ時間にしたいと思います。</p> <p>聴講者の方たちは、大学教育の改革や改善に参加・担当したり、支援を求められたり、その事務を担当することになることが多いことと思います。そのとき、①どのような視点を立てて課題を考えるか、②改革や改善の真の課題は何かをどのように発見し、どのような方法で考えるか、③発見した課題にどのような方法でアプローチするか、④どのような意識で改革・改善に参加するか、⑤改革・改善の成果をどのように確認し、学内外に対してどのような方法で広報するか、といった問題に直面することになります。</p> <p>改革・改善のテーマは無限にあります。今回は、①カリキュラムの改革、②FDとSDの目標と進め方、③大学院・学部・学科・コース等の改称・改編、という三つのテーマを立てて、それらに取り組むとき、どのような方法で上の諸点にアプローチするか、方法が異なるのはなぜか、といったことを披露して行きます。</p>					
<p>[タイムテーブル]</p> <p>10:00~11:00 講義Ⅰ 11:00~11:15 休憩(質問メモを配布します) 11:15~12:00 講義Ⅱ 12:00~12:30 懇談会</p> <p>*講義ⅠⅡを通じて、レジュメを用意します。 *懇談会の時間は、質問メモを使つての質疑応答を楽しみましょう。</p>					
<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学教育改革に参加するものにとって不可欠の認識を得る方法を身につけて行くためのヒントを得ることができる。 ・大学という組織の特質と理念、それが築いてきた価値と残されている問題、そして大学を構成する人間に今後課せられている課題、これらの問題を考えるための手がかりを掴む。 ・それらを考える背景として、過去150年間の日本の大学の歴史と1000年に近い世界大学史とがあることを、あらためて認識できるようになる。 					
<p>[受講資格・定員]</p> <p>個人会員及び団体会員に所属の個人で、大学院等で研究トレーニングを受けた経験の少ない者 定員:30名</p>					
<p>[宿題]</p> <p>特にありません。</p>					
<p>[参考書]</p> <p>担当者の連続講義記録です。目を通して置かれれば講義の理解が早いと思います。</p> <p>寺崎昌男 『21世紀の大学 — 職員の希望とリテラシー』 2016 東信堂 同上 『大学自らの総合力Ⅱ — 大学再生への構想力』 2015 東信堂</p>					